静岡新聞で学ぼう

静岡新聞

児童ら着衣水泳学ぶ

中区 事故防止へ教室

海水浴シーズンを前に、浜松市中区の浜松グリーンスイミングクラブ佐鳴台プールで13日、水難事故防止のための着衣水泳教室が開かれた。園児と小学生を中心にクラブ生約200人が参加した。

コーチがおぼれている人を見つけた時の注意事項を紙芝居を使って説明し、「まず大人を呼ぶ」「自分で助けに行かない」と教えた。

クラブ生は服を着たまま泳いだり歩いたりして、水中での動きにくさを実感した。空のペットボトルを抱えて浮く練習も行った。

同クラブは18日まで市内にあるクラブのプール3カ所で、同教室を開く。

空のペットボトルを抱えて浮く練習をする園児ら＝浜松市中区の浜松グリーンスイミングクラブ佐鳴台プール

２０１４年６月１４日朝刊　西部版

① おぼれている人を見つけたら、何をしますか。記事から二つ書きましょう。

（　　）

（　　）

②服を着たまま水に入ると、水着と比べてどんなことが違いますか。想像して書きましょう。

（　　）

③写真の子どもは何をかかえていますか。それはなぜですか。

（　　）

年　　組　　名前

（小学校中学年以上　保健・総合・学活）